



山田太郎参議院議員（みんなの党）

狙いは最初から「マンガ・アニメ規制」!? 反対派の旗手に聞く 終わらない表現規制との決着は 「議会での否決」しかない!

「附則」にこだわる
真の理由とは!?

永山…まずは自民・公明・維新から提出された児童ポルノ法改正案の問題点についてですが、これに関してはすでに結構語られていくので、何か付け加えることがあれば。

山田…踏み込んで言うと、今回の改正案を出した人たちの本心は、検討にある「マンガ・アニメ」にあるんじゃないかと思っています。多分私は、これを出した自民党の議員と直接本件に関して話した唯一の議員だと思います。その議員が我が

党の政調会に説明に来た時に、私から単純所持規制だけならまだ議論もできるけど、アニメ・漫画に関する附則が乗っかってしまったら、話すらできないと伝えました。それにその議員は附則を外してもいいと思ってるのはつきり言いました。そして「これを本文にしないように、私が守ったんだ」とも。中にはマンガ、アニメを直接規制する法律にした方がいいという人もいる、それに対して私が守った（附則にした）んだ、とおっしゃられたんですよ。

何があっても附則は外さない、逆を返せば、これこそが狙い。この法案は被害者の子供たちを守るのが趣旨ですから、別に本体だけで充分なんです。抱き合わせでこれ（マンガ・アニメ規制）を通したい。その意図はすごく感じるんですよ。

編集注記：本記事は2013年6月11日に取材した時点での情報です。児童ポルノ禁止法の改正案はその後、衆議院段階で継続審議となっており、秋の臨時国会で再度審議される見込みです。参議院においても与党が過半数を取ったため、法案は可決される可能性が高い状況です。

佐藤：最初から3年後にマンガ・アニメを規制する、ということこそが狙いだ。

山田：そうじゃなきゃ、こんなの外せばいいじゃない(笑)。

永山：そもそも「児童ポルノ」という名称が問題で、「児童性虐待の記録」という名称にすれば、動画、静止画に関わらず問題のあるものは絞れるし、それに反対する人ってほぼいない。

山田：単純所持規制はどう実行するかという定義をきっちり決めればいいだけの話ですよ。もちろん議論の余地はありますが。だから通す側としたら、それだけの方が圧倒的に通しやすいですよ。本来は児童虐待でポルノの写真などを撮られてしまった子供たちを守るために作る法案なんです。それだけで十分だと思っただけで、(マンガ・アニメ規制を)絶対に外してこない。だから、これ

をとにかく通したいんじゃないかというのがひとつ。

もうひとつの問題が「三号ポルノ」問題です。もうご存知だと思いますが、この三号ポルノの曖昧さが、裁量行政を生み出してしまふ。取り締まるというのなら、単純所持規制も三次元(の一号・二号ポルノ)に關してはわからなくはないのですが、裁量行政の大きさを三号ポルノの曖昧さが誘引しちゃうんです。すると何が起ころるかと言うと、自主規制に繋がるんです。将来これが通ってしまうと、マンガを作る側の編集者などが「これはヤバいんじゃないか?」と自主規制を始める。敵なんだか味方なんだかわからなくなる。そういう意味では凄い実行力を持っている。

それにもうひとつ付け加えておいて、これは世代間の闘いです。私より上の世

代、45歳以上、50、60代の人たちは、今のアニメとかを理解ができないんですよ。それで醜いもの、気持ち悪いものは排除しちゃえ、と。家に籠ってそういうマンガなんかを読んでいるから「いい子」にならない、だから犯罪を犯すんだ、そういう強烈な観念が強いんです。PTAの人たちにも「なんでこんなマンガを取り締まらないんだ!」

と言う人はたくさんいて、それに自民党が乗っかっている。マンガを理解できる人たちにとってみれば、なぜ規制しようとしているかまったく理解できないんです。ツイッターで流れてきたもので「今ウチのおじいさんおばあさんと(児ポ法の話で)喧嘩になっっている、どうしても理解してくれない」というのもありました。

議員の側が理解できない。だから規制反対を堂々と唱える議

員なんて少ないですよ、若手の一部の議員くらいです。でもこの若手議員というのは突破力が強いので、各党の中でもワーツ!とやって採めています。それでも、これを規制したい側が実行行使したら、いとも簡単に通っちゃいますよ。

国会図書館の対応に 注目が集まる

佐藤：マンガ、アニメ規制が注目を集めています。ネット規制も危険な内容ですね。ネットのプロッキングですが「通信の秘密」に関わってくる。

山田：とあるネットの大手検索サイトの方が私のところに話を聞きに来て「困っている、今後はどうなるんだ」と。もしこれが通ると自主規制をせざるを得ないんですけど、さりとて、と頭を抱えていました。強制ではなく努力義務だと規制する側は逃

げを打つんですけど、規制される側は条文に乗っていることは守らざるを得ない。

永山…警察の方からは努力義務だとしても警告が行くと思えます。「これはちよつと危ないよ」と言われてしまえば、自主規制せざるを得なくなる。

山田…1社始めたら、全部やりますよね。1999年に起こった自主規制で有名な紀伊国屋事件（※）ではないですけど、1社が、しかも大手が自主規制すると、みんな右に倣えなんで。

永山…紀伊国屋事件では『ベルセルク』に児童虐待がある、セックスイメージもある、で引つ込めちゃいました。

山田…あとは『あずみ』ですか。文化庁の大賞を取ったマンガが。あと、まだチェックしきれていないんですが、国会図書館はどうするんだという議論もあります。三号ホルノも対象で

すから、そうすると国会図書館にも相当あるんですよ。なら焚書するのかと。これが恐ろしいのは、国会図書館もつらいとは思いますが、自分たちで判断基準を作るワケでしょ？ 国会図書館の児判判断基準って凄いインパクトですよ。

世代による認識の差が表現規制を呼ぶ理由に

永山…よく分からないのは「芸術だつたらいいんじゃない？」とか言うじゃないですか。

山田…説明に来た議員は、サンタフェの話が出たんですけど「サンタフェはいい」んだって。何故なら芸術性が高いから。それをうちの議員たちが聞いて、みんな引いちゃった。そんな恣意的でいいの？ と。

永山…（自民党の）葉梨議員はそうは言ってないですよ。山田…笑っちゃいけないんです

けど、興奮したらアウトで興奮しなかったらセーフって、何言っちゃってんの？ と。性的に興奮することは別に悪いことじゃない、というか興奮しなかったら逆にマズいでしょ！ 国家がそんなものに介入してどうするんだと。

永山…わからないのは、なぜ下半身にまで国家が踏み込んでくるのか。妄想する自由には踏み込みようがないはずだし、それができるとしたら、もの凄くファシズム国家くらいでは。

山田…そうですね、変な話、自分でよろよろによるっとホルノ画像を描いて、それで興奮したらアウトなんですよ？ そんな馬鹿な話があるか、家で描いているだけで、法律違反ってことでですか。

永山…そのあたりが凄く嫌な感じがあるし、相当無茶な話なので陰謀論なんかも流れたりする

んですが、そうではなく「これは世代間抗争だ」と見切つてしまった方がいい？

山田…そう。あとは、馬鹿にしてるんですよ。みんな、マンガが読めなくなるとまでは思わなくても、マンガ・アニメやファンが凄く馬鹿にされていることに腹を立てている。

東京都の都条例の際にも「小説は色々読めるがマンガは一通りにしか読めない」と発言した人がいましたが、参議院の予算委員会でも私が安倍総理に「なぜ小説はよくてマンガ、アニメはダメなのか」と質問したら、麻生副総理がわざわざ横からマイクを奪って「子供は小説を読まないが、マンガは読む」と意味不明ですよ。でも、それが本心なんですよ。

つまり何も知らないんですよ、マンガやアニメについて。都合のいい時はクールジャパン

※紀伊国屋事件：1999年に児童ポルノ禁止法が施行された際、大型書店である紀伊国屋が自主的に未成年のヌードや性的表現を含んだ書籍を撤去した。しかし厳しすぎる自主規制の結果、『ガボンド』（井上雄彦）『ベルセルク』（三浦建太郎）『あずみ』（小山ゆう）など成年コミック以外で芸術性が高いとされた諸作品まで撤去され、問題視された事件。



盟友・三谷英弘衆議院議員とのコンビで送るニコニコ生放送「みんなのさんちゃんねる」では、週一ペースで児ポ法改正案問題を始めた政治情報をライブで放送中 ■ニコニコチャンネル 参議院議員・山田太郎 <http://ch.nicovideo.jp/taroyamada>

て……そこは私の出番で別の形で出してくる人がいたとしても「議会でケリはついたじゃないか」とやりたい。そのための営業活動は一生懸命やっ

た来ますから。でも本当は法や議会制度に照らし合わせて「成り立ちません」と終止符を打って、

衆議院から出ました。法律が出されると、まず議院運営委員会というところの預かりになって、次は法務委員会にかかって、議員立法なので提案した人たちが趣意説明というのを一日やって、次に各党で質

とか言って政治利用して、一方でマンガやアニメ好きなヤツは将来悪いことをするだろうという差別的なことをする。小説はいけどマンガやアニメはダメ、それは、子どもが読むからダメだと。びつくり。

もの、見たくないものを取り締まっていく。しかも、こんなにもしつこいのかと。今回だけじゃなく、何度となく繰り返されて出てくる粘り強さ。そこにも恐ろしさを感じる。

すから（笑）。他の党とも話をして、参議院では数合わせもして、自公維だけでは通らないと、そこまでは持つてきた。

衆議院の法案を参議院で止める!

道徳の問題として解決しなくてはいけない部分を、政治家が法律を道具として使って、醜い

10年以上統一していますが、反対している人たちって消耗してやめちゃったりする。新陳代謝があるんですけど、攻めてくる人たちは毎回顔ぶれが同じで。

永山…国会の仕組み、法案が作られる仕組みについて簡単に教えていただきたいんですが。

ここも通ると、こんどは衆法が参議院に回ってきて、参議院でも議院運営委員会にかけられる。で、ここは通りません。何故かと言うと、議院運営委員会の構成は（自民）11対（野党）12で、ウチ（みんなの党）が2票持っていますから、ウチが合意をしないと一生通りません。ギリギリ野党の方が多いんですね。仮に通って法務委員会で話したとしても、こちらも過半数は野党が握っていますので、通りません。これも仮に通ったとしても、本会議で先ほど言った営業活動をしてありますので、通りません。だから色々と関所が多いので、参議院にさえ回ってきてくれれば、どうにでも料

理できるというところまでは用意したんですけど。

永山…廃案と継続審議の違いというのは？

山田…廃案というのは2種類ありまして、否決されれば廃案ですし、会期中に通過しなければ廃案です。今国会は「第183国会」と言って、通常国会の会期は6月26日までですけど、提出した法案はその会期中に衆参両院で通らなければ廃案です。

ただ委員会で継続審議を宣言すると、議論を止めたままにして会期をまたげるんですね。次の第184国会を経て、秋の臨時国会に持ち越せる。ただし、今回は参議院での継続審議はできない。7月に参議院選挙があります、選挙を間に挟む場合は継続審議はできないんです。だから今回の児ボ法改正案は、参議院に来てても時間切れで廃案になると思います。

他には党議拘束というのがありますが、通常議員立法に対しては、各党ともあまり党議拘束はやりません。ただ、難しいんですよ、今回の話は。その議員が説明に来たりはしましたが、児ボ改正案はまだ法務委員会にかかっているんで、ウチの党としても正式に反対ができないんです。どういう内容で法務委員会に出されたかを把握しない限りは、党として賛成反対は言えないので、一応「保留」という形になっています。

自民党の場合は党議拘束をかけてくるでしょうね。自民党の怖さはここですよ。一度決めたらみんな従う。民主党なら右に倣えにならないですよ、大騒ぎになる。バラバラだから。いい所でもあるんですけどね。賛否両論あるような時は。

自民党はこういう理屈のはずだったみたいですよ。前回

（2009年）この話はしてますよね、そして前回（党内で）通してますよね、だから今回わざわざ法務部会にかけて議論する必要はないと思っていた、と。しかし「その時俺らはいなかった」と、前回の選挙（2012年衆院選）で受かった議員が。「おかしいじゃないか！」と言った勇氣のある人がいて、そこからグダグダと。

その議員は自分が政調会長のうちに通じたかったんだと思いますよ。選挙の後だと政調会長続けているかわからないですけど。偉いですよ、巨大与党の政調会長って。文句が出るとは思わなかっただろうし、後でどう言われようが、党議拘束をかけてしまえば静かになることを知っているから。

だから、逆にみんなの党になんか説明に来ちゃったのは失敗だよ。他党も少しは巻き込んで

でおいた方がいいだろうという判断で、自分が直接説明すれば大丈夫だろうと。それが私にキイキイ、ぎゃあぎゃあ言われるなんて思ってもみなかったし、こんなのが世に出そうだ、なんて広められるとは思っていませんでした。自公だけでやってあげれば良かったんですよ。

今後どうなるかは不明 体を張って世論を作る

永山…予断は許さないとしようが、今後どうなりますかね？

山田…わからない。わからないけど、これだけ粘着質でしつこいんですから、また出すんじゃないですか？ あと、誰が政調会長で誰が法務大臣か。出したい人は常にいますから、布陣によつては、スツと、また。

永山…最短は秋の国会ですが、その辺も読み切れない。
山田…いつ来るかは正直わから



■山田太郎参議院議員 プロフィール
1967年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程修了。アンダーセンコンサルティング（現アクセンチュア）など多数のコンサルティング企業に在籍、2000年にはネクステックを創業し、2005年には当社をマザーズに上場。東京工業大学特任教授、早稲田大学客員准教授を歴任。現在、東京大学工学部非常勤講師。
オフィシャルWebサイト：参議院議員山田太郎
<http://taroyamada.jp/>

ない。だから僕らがどういう運動を起こすかというところ、これを選挙の争点にしなきゃならない。賛成している人、反対している人を明確にして、世論を形成しないと。

永山…反対、慎重の立場を取る人は多い、とくに若い人に多いと思うのですが、その意見を投票以外で国政に反映させていく方法はあるでしょうか。

山田…議員にツイッターでも

メールでもお手紙でも出すことじゃないですか？ 声を届けることです。直接民主主義なんですから。地元の議員、地方議員でもいいと思います。声は上にあがりますから。「反対の声が多い、勘弁してくれ」と。

永山…面白いと思ったのは、前回の参議院選挙でも山田議員は明確に反対とおっしゃっていましたが、明確に賛成だという候補者もいた。みんなの党という

のは、なんでこう極端な人がふたりいるんだと思って。で、酷い話だけど両方とも落つちっちゃった（山田議員は2012年に繰り上げ当選）。

山田…これ（児ポ法）で数千票失った、って言われてますけどね。

僕はみんなの党が表現規制に賛成したら、（党には）いられないですよ？ これだけ反対だ反対だと言っておいて、もし党が賛成となったら、それはいられないですよ。

覚悟の表れとしては、「三号ポルノ所持宣言」もそうです。一番厄介なのは、めんどくさそうな僕なんかは捕まえられないで、政治的影響力もないような子を見せしめ的に捕まえる。そうすれば「ヤバイぞ……」という空気が蔓延して、反対運動もスーッと消えてくる。

佐藤…仮に「児ポ法で逮捕」と

なれば、それが事実か誤認か、あるいは児童虐待とは無関係の三号ポルノなのか、そういうのは無関係に恐らく人生が終わってしまいますよね。社会的に抹殺されるといえるか、変態という尾ひれがついて広まっていく。

山田…「変態」のレッテルは社会的に一番抑圧されやすいですから。単なるポルノではなく「変態」になりますからね。議論するだけで変態扱いされていく。

反対運動の先頭に立っている自負もあるし、体張って守ろうとするのなら、自分を差し出した方がいい。だって「俺を捕まえないのはオカシいじゃん！」と言えるし、それならみんなも戦えるでしょ？ それで世論がどうなっていくか、ですよ。僕らは世論を味方につけるしかないですから。

（2013年6月11日／取材・佐藤圭亮、永山薫）